

令和元年度公共事業再評価地区概要一覧

資料3

上段：直近評価
又は当初計画
下段：今回再評価

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費		R1事業費	事業費累計	進捗率 (%)	B/C	備考
										(百万円)	うち道負担額 (百万円)					
1	建設部	道路改築事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-01	おおあさひがしかりまほみ 大麻東雁来線	江別市	大麻東雁来線は、江別市大麻の道央自動車道江別西ICから、札幌市東区東雁来の国道275号に至る10.6kmの幹線道路である。 このうち、江別西ICから道道雁来江別線交点までの2.5kmの区間において、線形改良、4車線化及び歩道設置を行い、江別西ICへのアクセス向上及び安全で円滑な都市内交通の確保を図るもの。	H20 (2008)	R1 (2019)	計画延長 L=2.5km 道路工 L=2.5km 橋梁工 N=1橋(L=21.8m) 軟弱地盤対策工 ΣV=78,100m3	2,850	1,140	—	—	—	2.65	H26再評価
							H20 (2008)	R5 (2023)	計画延長 L=2.5km 道路工 L=2.5km 橋梁工 N=1橋(L=21.8m) 軟弱地盤対策工 ΣV=78,100m3	3,186	1,274	140	2,251	71%	1.97	—
2	建設部	道路改築事業費 (特定道路事業交付金)	08-02	なほとろさかべつぎん 名寄遠別線	遠別町	名寄遠別線は、名寄市から幌加内町を経由し、遠別町に至る約90kmの路線である。 このうち、幌加内町と遠別町の境界から遠別町方面への交通不能区間7.8kmを結ぶ新たな道路整備により、物流の効率化や住民生活の利便性向上、地域間の連携強化を図るとともに、自然災害発生時における代替ルートへの確保や周遊観光への支援を図るもの。	H22 (2010)	R3 (2021)	計画延長 L=7.8km 道路工 L=7.8km 橋梁工 N=9橋 トンネル工 N=1箇所(L=759m) 地すべり対策工 N=6箇所	11,500	2,300	—	—	—	1.53	H26再評価
							H22 (2010)	R7 (2025)	計画延長 L=7.8km 道路工 L=5.5km 橋梁工 N=9橋 トンネル工 N=1箇所(L=758m) 地すべり対策工 N=6箇所	13,100	2,620	700	4,895	37%	1.33	—
3	建設部	大規模特定河川事業費・ 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-03	くしろがわ 釧路川	釧路市・ 釧路町	釧路川は、太平洋に注ぐ一級河川で、S61年の洪水やH5年、H6年の高潮により、家屋浸水など多大な被害が発生。 また、H25年には、支川の別保川においても、洪水により、家屋浸水の被害が発生。 このため、計画延長13.5kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、釧路市旭町地区、釧路町別保地区などの家屋5,967戸、農地5haの浸水被害を防止するもの。	H7 (1995)	R26 (2044)	計画延長 L=5,380m 築堤工 L=9,360m 掘削工 L=5,380m 護岸工 L=5,716m 附帯工事 道路橋1橋、JR橋1橋等	31,336	10,445	—	—	—	1.12	H26再評価
							H7 (1995)	R26 (2044)	計画延長 L=13,480m 築堤工 L=13,855m 掘削工 L=13,480m 護岸工 L=17,116m 附帯工事 道路橋2橋、JR橋1橋等	39,905	13,302	873	14,834	37%	1.80	—
4	建設部	大規模特定河川事業費・ 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-04	くさんるがわ クサンル川	稚内市	クサンル川は、宗谷湾に注ぐ二級河川で、H6年、H8年、H12年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。 このため、計画延長1.05kmの区間について、河積の拡大を行い、稚内市大黒地区などの家屋391戸の浸水被害を防止するもの。	H19 (2007)	R9 (2027)	計画延長 L=1,050m 掘削工 L=1,050m 護岸工 L=2,047m 附帯工事 道路橋7橋、JR橋1橋等	4,500	2,025	—	—	—	11.54	H26再評価
							H19 (2007)	R10 (2028)	計画延長 L=1,050m 掘削工 L=1,050m 護岸工 L=2,047m 附帯工事 道路橋7橋、JR橋1橋等	6,327	2,847	420	3,677	58%	9.44	—

令和元年度公共事業再評価地区概要一覧

資料3

上段：直近評価
又は当初計画
下段：今回再評価

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費		R1事業費	事業費累計	進捗率 (%)	B/C	備考
										(百万円)	うち 道負担額 (百万円)					
5	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-05	いくまわらび 生田原川	遠軽町	生田原川は、湧別川水系湧別川に合流する一級河川で、S50年、S54年、S56年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長23.3kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、遠軽町生田原地区などの家屋29戸、農地216haの浸水被害を防止するもの。	H12 (2000)	R5 (2023)	計画延長 L=23,300m 築堤工 L=21,000m 掘削工 L=15,600m 護岸工 L=380m 附帯工事 道路橋3橋 JR橋3橋等	5,493	1,831	—	—	—	1.39	H26再評価
							H12 (2000)	R14 (2032)	計画延長 L=23,300m 築堤工 L=21,000m 掘削工 L=15,600m 護岸工 L=380m 附帯工事 道路橋3橋 JR橋3橋等	6,105	2,035	120	2,225	36%	1.35	—
6	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-06	ふしこべつがわ 伏古別川	帯広市	伏古別川は、十勝川水系十勝川に合流する一級河川で、H23年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長2.8kmの区間について、河積の拡大や排水ポンプ施設の整備を行い、帯広市北親地区などの家屋591戸、農地1haの浸水被害を防止するもの。	H26 (2014)	R10 (2028)	計画延長 L=2,800m 掘削工 L=2,760m 護岸工 L=5,520m 排水ポンプ施設 N=1基 附帯工事 道路橋3橋等	3,930	1,310	—	—	—	2.63	H24事前評価
							H26 (2014)	R14 (2032)	計画延長 L=2,800m 掘削工 L=2,760m 護岸工 L=5,520m 排水ポンプ施設 N=1基 附帯工事 道路橋3橋等	4,495	1,498	108	743	17%	2.62	—
7	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-07	ひくにがわ 美国川	積丹町	美国川は、日本海に注ぐ二級河川で、H10年、H11年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長0.8kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、積丹町船瀬地区などの家屋294戸、農地2haの浸水被害を防止するもの。	H12 (2000)	R1 (2019)	計画延長 L=800m 築堤工 L=370m 掘削工 L=800m 護岸工 L=1,183m 附帯工事 道路橋1橋等	3,682	1,657	—	—	—	2.67	H26再評価
							H12 (2000)	R4 (2022)	計画延長 L=800m 築堤工 L=370m 掘削工 L=800m 護岸工 L=1,183m 附帯工事 道路橋1橋等	4,507	2,028	150	3,823	85%	1.74	—
8	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-08	しほくまがわ 汐泊川	函館市	汐泊川は、津軽海峡に注ぐ二級河川で、H7年、H10年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長7.5kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、函館市古川町地区などの家屋80戸、農地60haの浸水被害を防止するもの。	H12 (2000)	R9 (2027)	計画延長 L=7,500m 築堤工 L=10,284m 掘削工 L=6,635m 護岸工 L=13,040m 附帯工事 道路橋1橋等	7,000	3,150	—	—	—	1.22	H26再評価
							H12 (2000)	R23 (2041)	計画延長 L=7,500m 築堤工 L=10,284m 掘削工 L=6,635m 護岸工 L=13,040m 附帯工事 道路橋1橋等	7,823	3,520	30	1,261	16%	1.25	—

令和元年度公共事業再評価地区概要一覧

資料3

上段：直近評価
又は当初計画
下段：今回再評価

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費		R1事業費	事業費累計	進捗率	B/C	備考
										(百万円)	うち 道負担額 (百万円)					
9	建設部	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-09	藻琴川	大空町	藻琴川は、オホーツク海に注ぐ二級河川で、H10年、H12年、H13年、H18年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長6.0kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、大空町東藻琴地区などの家屋2戸、農地61haの浸水被害を防止するもの。	H20 (2008)	H30 (2018)	計画延長 L=6,000m 築堤工 L=7,330m 掘削工 L=6,000m 護岸工 L=1,100m 附帯工事 道路橋1橋等	880	396	—	—	—	1.77	H26再評価
							H20 (2008)	R7 (2025)	計画延長 L=6,000m 築堤工 L=7,330m 掘削工 L=6,000m 護岸工 L=1,900m 附帯工事 道路橋1橋等	1,614	726	125	874	54%	1.16	—
10	建設部	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-10	右山川	砂川市	石山川は、石狩川水系空知川に合流する一級河川で、S63年、H4年の洪水により家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長3.0kmの区間について、河積の拡大を行い、砂川市空知太地区などの家屋322戸、農地12haの浸水被害を防止するもの。	H12 (2000)	H30 (2018)	計画延長 L=3,000m 掘削工 L=2,700m 護岸工 L=4,100m 附帯工事 道路橋6橋等	3,300	1,100	—	—	—	5.78	H26再評価
							H12 (2000)	R4 (2022)	計画延長 L=3,000m 掘削工 L=2,700m 護岸工 L=4,100m 附帯工事 道路橋6橋等	3,984	1,328	192	3,514	88%	5.31	—
11	建設部	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-11	ヌッチ川	余市町	ヌッチ川は、日本川に注ぐ二級河川で、S37年、S48年、S60年の洪水による浸水被害を受け、H2年より河川改修事業に着手。その後、H22年の洪水においても、浸水被害が発生。このため、H25年に事業区間を延伸し、計画延長8.6kmの区間について、堤防の新設や河積の拡大を行い、余市町沢町地区などの家屋463戸、農地80haの浸水被害を防止するもの。	H2 (1990)	R5 (2023)	計画延長 L=8,550m 築堤工 L=7,340m 掘削工 L=8,160m 護岸工 L=9,290m 附帯工事 道路橋6橋等	6,700	3,015	—	—	—	2.70	H26再評価
							H2 (1990)	R7 (2025)	計画延長 L=8,550m 築堤工 L=7,340m 掘削工 L=8,160m 護岸工 L=9,290m 附帯工事 道路橋6橋等	8,254	3,714	420	6,591	80%	2.46	—
12	建設部	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-12	常盤川	函館市	常盤川は、津軽海峡に注ぐ二級河川で、H7年、H9年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。このため、計画延長1.6kmの区間について、河積の拡大を行い、函館市桔梗地区の家屋279戸、農地4haの浸水被害を防止するもの。	H19 (2007)	R10 (2028)	計画延長 L=1,550m 掘削工 L=1,550m 護岸工 L=3,100m 附帯工事 道路橋8橋、JR橋1橋	3,596	1,618	—	—	—	3.40	H26再評価
							H19 (2007)	R12 (2030)	計画延長 L=1,550m 掘削工 L=1,550m 護岸工 L=3,100m 附帯工事 道路橋8橋、JR橋1橋	3,886	1,749	100	591	15%	4.18	—

令和元年度公共事業再評価地区概要一覧

資料3

上段：直近評価
又は当初計画
下段：今回再評価

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費		R1事業費	事業費累計	進捗率	B/C	備考
										(百万円)	うち 道負担額 (百万円)					
13	建設部	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-13	おおまつまえがわ 大松前川	松前町	大松前川は、松前湾に注ぐ二級河川で、H17年の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生。 このため、計画延長0.71kmの区間について、河積の拡大を行い、松前町福山地区の家屋66戸の浸水被害を防止するもの。	H18 (2006)	H30 (2018)	計画延長 L=710m 掘削工 L=710m 護岸工 L=710m 附帯工事 道路橋4橋等	900	405	—	—	—	1.20	H26再評価
							H18 (2006)	R7 (2025)	計画延長 L=710m 掘削工 L=710m 護岸工 L=710m 附帯工事 道路橋4橋等	1,078	485	50	707	66%	1.30	—
14	建設部	通常砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-14	ユードロ沢川 ユードロ沢川	留萌市	ユードロ沢川地区は、流域内が荒廃しており、今後の出水により下流域への土砂・流木の流出が懸念される。 このため、留萌市大和田町地区の人家14戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H29 (2017)	砂防堰堤工 N=1基	140	70	—	—	—	—	当初計画
							H26 (2014)	R5 (2023)	砂防堰堤工 N=1基	437	219	12	134	31%	2.56	—
15	建設部	通常砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-15	ことにはっさびがわ 琴似発寒川	札幌市	琴似発寒川地区は、H10年、H16年の豪雨により流域内が荒廃しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、札幌市中央区盤渓・西区西野地区の人家24,231戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、砂防堰堤改良工、溪流保全工)の整備を行うもの。	H21 (2009)	R1 (2019)	砂防堰堤工 N=6基 砂防堰堤改良工 N=2基 溪流保全工 L=4,400m	1,290	645	—	—	—	34.84	H26再評価
							H21 (2009)	R7 (2025)	砂防堰堤工 N=6基 砂防堰堤改良工 N=2基 溪流保全工 L=4,400m	1,661	831	18	948	57%	19.16	—
16	建設部	通常砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-16	さなしたんがわ 三新川	せたな町	三新川地区は、H22年の豪雨により山腹崩壊が発生しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、せたな町大成区宮野の人家13戸などを保全するため、砂防設備(土石流堆積工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H28 (2016)	砂防堰堤工 N=1基	170	85	—	—	—	—	当初計画
							H26 (2014)	R4 (2022)	土石流堆積工 N=1基	320	160	21	116	36%	3.26	—

令和元年度公共事業再評価地区概要一覧

資料3

上段：直近評価
又は当初計画
下段：今回再評価

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費		R1事業費	事業費累計	進捗率	B/C	備考	
										(百万円)	うち 道負担額 (百万円)						
17	建設部	通常砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-17	ひがしはまわがわ 東浜沢川	羽幌町	東浜沢川地区は、H22年の豪雨により土砂流出が発生しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、羽幌町焼尻地区の人家9戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、渓流保全工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H30 (2018)	砂防堰堤工 N=1基 渓流保全工 L=180m 補償工事(函渠) N=1箇所	250	125	—	—	—	—	—	当初計画
							H26 (2014)	R5 (2023)	砂防堰堤工 N=1基 渓流保全工 L=180m 補償工事(函渠) N=1箇所	519	260	56	194	37%	1.52	—	
18	建設部	火山砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-18	ふらのがわ 富良野川 (2号堰堤)	上富良野町	富良野川地区は、S37の噴火を契機に富良野川通常砂防事業に着手。 S62年に「十勝岳周辺泥流対策検討委員会」が設置され、「火山泥流対策基本計画」を策定。 上記に基づき、H1年より富良野川火山砂防事業に着手。 上富良野町、中富良野町の人家89戸などを保全するため、既設砂防設備(砂防堰堤工)の改良を行うもの。	H26 (2014)	R4 (2022)	砂防堰堤改良工 N=1基	4,644	2,090	—	—	—	4.81	H24事前評価	
							H26 (2014)	R7 (2025)	砂防堰堤改良工 N=1基	6,804	3,062	170	601	9%	3.66	—	
19	建設部	火山砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-19	べべつがわ 辺別川	美瑛町	辺別川地区は、H18年、H19年の豪雨により流域内の荒廃が進行し、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、美瑛町根内地区・俵真布地区の人家29戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤改良工、流木捕捉工)の整備を行うもの。	H21 (2009)	R1 (2019)	砂防堰堤改良工 N=6基 流木捕捉工 N=2基	1,680	756	—	—	—	3.47	H26再評価	
							H21 (2009)	R5 (2023)	砂防堰堤改良工 N=6基 流木捕捉工 N=2基	2,090	941	200	1,843	88%	2.01	—	
20	建設部	火山砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-20	もりまちこうく 森町工区	森町	森町地区は、H8年に駒ヶ岳が噴火し、同年の豪雨により土石流が発生。 また、H10年、H12年にも噴火しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、森町尾白内地区の人家215戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、導流工、道流堤)の整備を行うもの。	H12 (2000)	R1 (2019)	砂防堰堤工 N=1基 導流工 N=1基 道流堤 N=1基	2,726	1,227	—	—	—	7.04	H26再評価	
							H12 (2000)	R6 (2024)	砂防堰堤工 N=1基 導流工 N=1基 道流堤 N=1基	2,962	1,333	10	1,181	40%	7.71	—	

令和元年度公共事業再評価地区概要一覧

資料3

上段：直近評価
又は当初計画
下段：今回再評価

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費		R1事業費	事業費累計	進捗率	B/C	備考
										(百万円)	うち 道負担額 (百万円)					
21	建設部	火山砂防事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-21	砂原町工区	森町	砂原町地区は、H8年に駒ヶ岳が噴火し、同年の豪雨により土石流が発生。 また、H10年、H12年にも噴火しており、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念される。 このため、森町(旧砂原町)の人家890戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、導流工、道流堤)の整備を行うもの。	H12 (2000)	R10 (2028)	砂防堰堤工 N=4基 導流工 N=4基 道流堤 N=6基	15,469	6,961	—	—	—	4.13	H26再評価
							H12 (2000)	R15 (2033)	砂防堰堤工 N=4基 導流工 N=4基 道流堤 N=6基	16,595	7,468	460	5,621	34%	3.87	—
22	建設部	総合流域防災事業(砂防)費 (社会資本整備総合交付金)	08-22	シカノ沢川	小樽市	シカノ沢川地区は、流域内が荒廃しており、今後の出水により下流域への土砂・流木の流出が懸念される。 このため、小樽市朝里地区の人家7戸などを保全するため、砂防設備(砂防堰堤工、溪流保全工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H30 (2018)	砂防堰堤工 N=1基 溪流保全工 L=460m	210	105	—	—	—	—	当初計画
							H26 (2014)	R3 (2021)	砂防堰堤工 N=1基 溪流保全工 L=460m	463	232	16	392	85%	4.09	—
23	建設部	地すべり対策事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-23	緑町	紋別市	緑町地区の斜面では、段差地形や樹木の傾倒等を確認。 また、地下水が豊富で各所に湧水や湿地があるため、融雪水や豪雨による斜面の不安定化が懸念される。 このため、紋別市緑町地区の人家121戸などを保全するため、地すべり対策施設(集水井工、水路工、頭部排土工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	R5 (2023)	地下水排除工 集水井工 N=6基 水路工 L=660m 頭部排土工 V=23,290m ³	950	475	—	—	—	—	当初計画
							H26 (2014)	R5 (2023)	地下水排除工 集水井工 N=6基 水路工 L=660m 頭部排土工 V=23,290m ³	1,072	536	30	313	29%	9.68	—
24	建設部	総合流域防災事業(急傾斜)費 (社会資本整備総合交付金)	08-24	小樽梅ヶ枝2	小樽市	小樽梅ヶ枝2地区は、H22年の大雨により斜面崩壊が発生。 このため、小樽市梅ヶ枝2地区の人家13戸などを保全するため、急傾斜地崩壊防止施設(土留柵工、地山補強土工)の整備を行うもの。	H26 (2014)	H29 (2017)	土留柵工 L=194m(区間延長) ΣL=524m(施工延長)	215	129	—	—	—	—	当初計画
							H26 (2014)	R3 (2021)	土留柵工 L=170m(区間延長) ΣL=404m(施工延長) 地山補強土工 L=24m(区間延長) A=580m ²	400	232	90	251	63%	1.21	—

令和元年度公共事業再評価地区概要一覧

資料3

上段：直近評価
又は当初計画
下段：今回再評価

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費		R1事業費	事業費累計	進捗率 (%)	B/C	備考
										(百万円)	うち 道負担額 (百万円)					
25	建設部	急傾斜地崩壊対策事業費 (事業間連携砂防等事業(補助))	08-25	南茅部川汲 <small>みなみやべがくみ</small>	函館市	南茅部川汲地区は、H10年の台風より、斜面崩壊が発生。また、H19年の豪雨においても、斜面崩壊が発生し、斜面の不安定化が進行。 このため、函館市川汲地区の人家56戸などを保全するため、急傾斜地崩壊防止施設(土留柵工、プレキャスト法枠工)の整備を行うもの。	H21 (2009)	H30 (2018)	土留柵工 L=792m(区間延長) ΣL=1,820m(施工延長) プレキャスト法枠工 L=30m(区間延長) A=300m ²	800	470	—	—	—	2.52	H26再評価
							H21 (2009)	R4 (2022)	土留柵工 L=780m(区間延長) ΣL=1,803m(施工延長) プレキャスト法枠工 L=30m(区間延長) A=300m ²	950	519	180	763	80%	2.19	—
26	建設部	急傾斜地崩壊対策事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-26	室蘭母恋 <small>むろらんぼこい</small>	室蘭市	室蘭母恋北町3-1地区は、H13年に隣接する母恋北町地区において、斜面崩壊より人家などの被害が発生。 このため、室蘭市母恋北町2、3丁目の人家21戸などを保全するため、急傾斜地崩壊防止施設(土留柵工、地山補強土工)の整備を行うもの。	H21 (2009)	H28 (2016)	土留柵工 L=450m(区間延長) ΣL=1,970m(施工延長)	800	428	—	—	—	2.47	H26再評価
							H21 (2009)	R3 (2021)	土留柵工 L=356m(区間延長) ΣL=1,560m(施工延長) 地山補強土工 L=94m(区間延長) A=2,510m ²	870	466	83	736	85%	2.16	—
27	建設部	海岸浸食対策費 (社会資本整備総合交付金)	08-27	虎杖浜海岸 <small>こじょうはまかいがみ</small>	白老町	虎杖浜海岸は、砂浜の浸食が著しく、台風や低気圧の接近時には、背後の人家等に越波、浸水被害が発生。 このため、離岸堤の施設整備を行い、家屋等304戸を保全するもの。	H26 (2014)	R5 (2023)	計画延長 L=1,967m 離岸堤(9基) L=1,547m	3,230	1,454	—	—	—	13.21	H24事前評価
							H26 (2014)	R11 (2029)	計画延長 L=1,967m 離岸堤(9基) L=1,547m	5,390	2,426	60	564	10%	8.49	—
28	建設部	都市計画街路事業費 (防災・安全交付金)	08-28	3・4・47文教通 <small>ぶんきょうどおろ</small>	函館市	文教通は、函館市中心部から日吉町、高丘町、戸倉町などの市街地を通り、函館空港や恵山方面を結ぶ幹線街路であるが、急勾配・狭小幅員であり、安全な通行に支障をきたしている。 このため、L=2.1kmの区間において、道路(2車線・両側自歩道)の新設整備を行うもの。	H19 (2007)	R1 (2019)	計画延長 L=2.0km 道路工 L=2km 橋梁工 N=2橋(L=26m、L=12m)	9,530	3,812	—	—	—	1.30	H26再評価
							H19 (2007)	R5 (2023)	計画延長 L=2.1km 道路工 L=2.1km 橋梁工 N=3橋(L=26m、L=12m、L=61m)	11,673	4,669	670	7,723	66%	1.18	—

令和元年度公共事業再評価地区概要一覧

資料3

上段：直近評価
又は当初計画
下段：今回再評価

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業着手年度	完了予定年度	事業内容	総事業費		R1事業費	事業費累計	進捗率	B/C	備考
										(百万円)	うち 道負担額 (百万円)					
29	建設部	都市計画街路事業費 (社会資本整備総合交付金)	08-29	3・6・82臨空工業団地通	函館市	臨空工業団地通は、臨空工業団地と函館空港・函館港との物流及び地域の生活を支える重要性の高い路線であるが、現道は急勾配・急カーブであり、大型車のスリップの危険性が指摘されてきた。 このため、L=1.7kmの区間において、道路改良を行い、臨空工業団地から函館空港・函館港への物流の効率化及びバリエーションの強化を図るもの。	H26 (2014)	H30 (2018)	計画延長 L=1.7km <北海道施工L=1.3km> 道路工 橋梁工 N=1橋(L=203m) 擁壁工 L=270m <北海道開発局施工L=0.4km>	4,900	1,960	—	—	—	1.88	H23事前評価
							H26 (2014)	R3 (2021)	計画延長 L=1.7km <北海道施工L=1.4km> 道路工 橋梁工 N=1橋(L=199m) 擁壁工 L=270m <北海道開発局施工L=0.3km>	3,984	1,594	670	2,577	65%	2.15	—